

## 高槻の高齢社会をよくする会 2016 年度活動方針

介護事業を担っているつどいの家「はむろ」の活動は順調に進んでいます。「明るく、楽しく、いきいきと」とした活動は、そこに参加する利用者、ボランティア、スタッフが「ここに参加出来て本当に良かった」と互いにその魅力を評価し合っています。よくする会の理念である「尊厳を持って生きられる豊かな人間関係を創る」伝統が着々と創られていると言えます。自分をありのままに表現でき、それを互いに受け入れていく環境を大切に磨いていきたいと思えます。

「地域包括ケアシステム」を先取りしてきた「よくする会」の活動を今年も着実に進めたいと願います。特に、会員互助活動の「ありんこの会」活動は、順調に利用者が増えています。地域で支えあう一つのモデルとして活動の幅を拡げて行きたいと思えます。

2016 年度の具体的活動方針について以下のようにまとめました。

1. 心身ともに健康を維持し、生きがいや働きがいを見出すため、会員が地域で上手につながって助け合う仕組みを創る。
  - イ. 井戸端会(塚原地区第 2 火曜日、南平台地区第 3 金曜日)を毎月開催して地域の仲間づくりを行う。
  - ロ. 毎月第 3 土曜日につどいの家「はむろ」で午前は運営委員会を開き、午後には学習や交流を深めるための行事を企画する。行事に参加しやすくするために送迎体制を整える。また、会員の要望を聞いて企画を充実させるため、運営委員会への参加を求める。
  - ハ. 辻光文さんが育んだ「福祉ステーション えにし庵」(塚原 6 丁目)を拠点とした活動を支援し、参加する。
  - ニ. NPO フェスタに参加し、高槻の行政や NPO 団体との協働活動を進める。
  - ホ. 「よくする会祭り」を年一回行い、会員や地域との交流を深める。
  
2. 病気や障がいを負っても互いに尊厳をもって生きられるよう、「弱さ」を共有して支えあい共に成長していく。
  - イ. つどいの家「はむろ」の介護事業と予防活動を充実させ、ケアの質を高める。スタッフの世代交代を意識してその成長を図る。
  - ロ. 会員互助活動「ありんこの会」の活動を更に拡げて、互助活動の実績を作りつつ会員も増やす。
  - ハ. 「認知症を理解し地域で支える会」の活動に引き続き参加し、認知症本人とその家族の支援に貢献する。